

ふれあい通信

令和8年7月17日（金）発行
山形県立米沢養護学校
交流だより NO.1

交流及び共同学習の取組み

校長 戸屋 学



障がいのある子どもと障がいのない子ども、あるいは地域の障がいのある人とが触れ合い、共に活動する交流及び共同学習は、障がいのある子どもにとっても、障がいのない子どもにとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となります。

本校では、長らく、様々な形で交流及び共同学習に取り組んできました。今年度の取組みは以下になります。

<本校・やまなみ学園分教室>

- 小学部：南部小学校との「にこにこ交流」「きらきら交流」
- 中学部：南成中学校との「虹の橋交流」
- 高等部（総合コース・就労コース）：「九里学園高等学校との交流」
- 訪問教育：各学部の児童生徒との交流学习（個別のスクーリング）

本校での「合同スクーリング（合同授業）」

- やまなみ学園分教室：「長井校との交流」「西置賜校との交流」

<長井校>

- 「豊田小学校との交流」
 - ・ 日常的な交流（中間休み時間での関わり） ・ 豊田小との学年間での交流
 - ・ 豊田小特別支援学級との交流 ・ 豊田バイキング給食
 - ・ 豊田小長井校大運動会 ・ 豊田小交通安全教室 ・ 豊田小クリーン活動
 - ・ 豊田小学習発表会 ・ 地域つながる学習活動（黒獅子舞他）
 - ・ 豊田小特別支援学級とのパラフットボール

<西置賜校>

- 中学部：「長井南中学校との交流」
 - ・ バイキング給食 ・ 特別支援学級との交流 ・ 3学年合唱鑑賞 ・ 清掃活動
 - ・ 西置賜校作業学習体験 ・ 長井南中学生徒へクリスマス飾りのプレゼント
 - ・ 長井南中学生徒へ合格祈願だるまのプレゼント
- 高等部：「長井工業高等学校との交流」「置賜農業高等学校との交流」

さらに、居住地校交流や地域との交流なども積極的に進めていきます。また「よねようまつり」「よねよう市（本校中学部、高等部）」「米養にしおきたままつり」等、地域の方々との関わる機会も大切に考えています。一つ一つの取組みを着実に積み上げながら、相互理解につなげていきます。



小学部

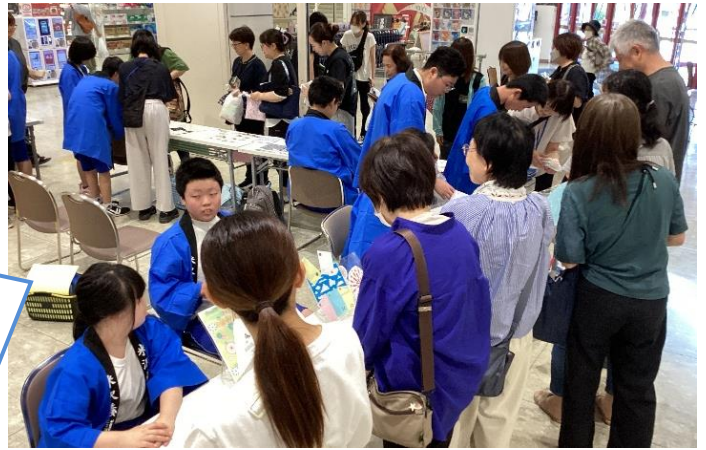
小学部4，5，6年生で米沢市立南部小学校に出向き、『にこにこ交流』を行いました。相手校の特別支援学級の児童と4，5人組になり、一緒にダンスを踊ったり、バランスボールや魚つり、風船バレーなどで遊んだりしました。最後は全員でバルーン。笑顔いっぱいの交流となりました。

中学部

2日間、イオン米沢店にて「中学部よねよう市」を行い、リサイクル班、布加工班、木工クラフト班、紙工班、それぞれの製品を販売しました。

たくさんのお客様にお越しいただき、「いらっしゃいませ。」「ありがとうございました。」の声にも一層力が入っていました。

自分たちの製品が売れたという喜びを班の仲間と一緒に分かち合っていました。



高等部

就労コースでは、職業科で製造した自家焙煎コーヒーを上杉まつりでも『よねようカフェ』として出店しました。当日は、天候にも恵まれ多くのお客様に来店していただき、地域の方々と交流することができました。今後も様々な方と交流していきたいと思います。



訪問教育

置賜農業高等学校で、高校生のお兄さんやお姉さん、先生方に教えてもらいながら、ウサギの「コアラ」と「ライン」とのふれあい体験をしました。

高校生のお兄さんがウサギを抱っこしてそばに来てくれたので、ウサギを間近で見たり一緒にえさをあげたりすることができました。



やまなみ学園 分教室

小学部5・6年生と長井校の5・6年生で交流を行い、班に分かれて魚釣りを楽しみました。友達に「一緒に釣ろう!」と声を掛け、大きな魚を力を合わせて釣り上げました。事後学習では、「宿泊学習・修学旅行でまた会おうね。」と手紙を書きました。

